

広報

カナダ

Kanada Town PUBLIC RELATIONS



● 特集 川を生かす!!

サケ Came Ba~ck!!

「ぼくたちのまちへ、もどってきてネ」……。

3月12日、サケの放流が彦山川、中元寺川で行われました。9回目を数える今回の放流には、町内4保育所、ひらばる幼稚園の園児ら約150人が参加。「遠賀川に鮭を呼び戻す会」の大里 叶さんが自宅井戸水を利用してふ化させた稚魚のうち約3千匹が、園児らが持ち寄った色とりどりバケツから川に放たれ、稚魚たちは元気よく河口をめざしていました。

サケの回帰率は、普通は3~4%ありますが、遠賀川水系で毎年放流されているものは、0.01%と低いことから、建設省遠賀川工事事務所が今年から回帰率を高めるための実験を開始。川のおいをかぎわけ、生まれ故郷の川に戻るという有力な説に従い、遠賀川の水でこのほどふ化に成功しました。将来は、遠賀川生まれのサケが成長して、産卵する生態系の回復を目標にしています。

11年前から「遠賀川に鮭を呼び戻す会」が放流を続け、その輪も金田町を含め8カ所に広がりました。

川筋育ちという言葉が象徴するように、わたしたち筑豊人にとっての母なる川。もっときれいに。そして毎年サケが川を上る姿を見たいものです。

4.1
1997



↑サケの放流



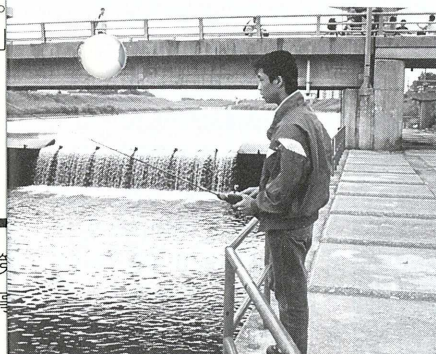
I Love 彦山川(方城町)↑

10月第2週、伊方橋下の河川敷で行われている。河川の清掃や川の生き物展など、環境保全をメインの催し。



しじみの放流・しじみ祭り(大任町)↑

水質浄化のため毎年7月しじみを放流。10月第4日曜日には、「しじみ祭り」を開催。しじみ掘りやイベントで河川敷はにぎわいをみせる。平成7年12月には、全国では例をみない「しじみ育成保護条例」を制定。祭り以外は、取ることを禁止している。



←風寺八幡宮川渡り神幸祭(田川市)

毎年5月第3土、日曜日に行われる。400年以上の歴史をもつ「川筋甲子」の豪快な祭り。



少年魚釣り大会(糸田町)

町内の小、中学生を対象に毎年9月2日曜日に行われる。社会教育課主催事業で、コイなどの放流も行っている。

川の水は上流から下流へ、さらに河口へと流れています。わたしたちはこれは当たり前と考えます。川というのは、水が流れているところと考えているからです。でも、昔の人たちにとっての川とは、サケが上る場所、人が泳ぎ、暮らすところ、生活の糧を得るところでした。わたしたちの町を流れる三つの川。彦山川、中元寺川、沁川も太古の昔から人が住み、農耕が発達し、川と共に文化や産業の歴史のドラマが、水の流れの如く続いています。日本人の川(水)への想いには深いものがあります。水の神のたかぶりを鎮めるために人柱を捧げた大浦池の話や、農業用水を確保するために争った七十石のキツネ塚が語る農民たちの姿。かんがい水路を田川市楠から引き込み農業の発展に貢献した清徳さんの姿まで……。

自然と対話する心情は、ここ百年の近代化によっても、わたしたち現代人の心の深層にも受け継がれているのではないのでしょうか。いま町では水辺の環境を魅力あるものにして、あわせてシンボルロードや二重ヶ池公園など、町の顔になる特色ある『かわづくり』を行う「河川公園整備事業」が進められ、水辺景観が作り出されています。今回の特集では、3月に福岡県から指定を受けた「生活排水対策重点地域」を中心に、わたしたちと川のかかわりを考えてみたいと思います。



特集

川を生かす!!